



こどもDoまんなか
さいとう
武次郎

タケの子かわら版

市政報告



合理的根拠はあるのか？ 放デイ 利用制限

厳しい倉敷市の放課後デイサービスの利用制限緩和を求める



放課後等デイサービスの利用制限緩和を求める

2月議会一般質問で、武次郎は県内で最も厳しい倉敷市の放課後等デイサービスの利用制限緩和を求めました。

倉敷市の放課後等デイサービスは、①利用

日数が月5日以内(最多は津山市等県内13市町)、②複数事業所利用不可(県内5市町村が利用不可)、③通級指導教室との併用不可(県内4市町村が利用不可)と、県内で最も厳しい利用制限がなされています。

武次郎は「合理的根拠はあるのか？ 利用制限を緩和すべき」と訴えました。

「通級指導教室との併用不可の見直しを検討する」との答弁を得ました。倉敷市の放課後等デイサービスの厳しい利用制限の風穴が開くことを期待しています。

この質問に際しては、放課後等デイサービス事業所や利用者の皆さんから貴重なお話を聴かせていただきました。ご協力に感謝申し上げます。

その他の質問

- ・障がい者も参加しやすい20歳の集いにすべき
- ・発達障がいと不登校の関係を把握すべき
- ・ふれあい教室での不登校オンライン相談

- ・不登校自立応援室の常駐の支援員の拡充を
- ・フリースクールやフリースクールに通う家庭に財政支援を

緊急告知FMラジオ購入補助金 対象者をスマホなしの市民に拡大

災害時に避難情報などを自動で知らせる緊急告知FMラジオ「こくっち」購入費助成制度の対象者を2024年4月から、緊急情報を入手できるスマホを持っていない全ての市民(幼児等一部を除く)の皆さんが利用できるように、緩和します。補助金を活用すると、2,000円の負担で購入できます。



緊急告知FMラジオ「こくっち」

武次郎のYouTubeライブ配信 速報! 6月補正予算案 2024年6月6日(木) 21時~

LINE何でも相談室 はじめました!



議員に会わなくても、電話もしなくても、あなたの好きな時間・好きな場所で相談できます。

QRコードから友達になる



ID検索から友達になる



2024年度一般会計当初予算は2039億円

全会計4189億円(対前年度比99.6%)、借金230億円、人件費319億円

2024年度末借金残高は3,343億円 利息支払いは1日696万円に!

2024年度当初予算が決定しました。

全会計で4,188億9,838万円(対前年度比99.6%)、一般会計が2,039億3,989万円、普通交付税が145億円、市債が177億円です。

一方、全会計で229億8,050万円(前年度:268億6,340万円)を借り入れ、元金313億9,381万円(前年度:318億8,984万円)と利息25億4,123万円(前年度:25億7,649万円)を支払う予定です。一日当たり696万円(前年度:704万円)の利息を払う勘定になります。この結果、2024年度末の市債残高見込みは3,343億907万円(前年度:3,409億3,013万円)となります。市税は前年度に比べ、約27億2,791万円の減額で、828億1,383万円を見込んでいます。財政調整基金の取り崩しは22億6,298万円(前年度:35億4,445万円)で、取り崩し後は90億5,444万円(前年度:90億3,235万円)になる見込みです。

【主な予算】

ふれあい教室事業費 8,243万円

ふれあい教室(適応指導教室)で、不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立に向けた支援を行う。

2024年度からオンライン対応の教育指導員3名を配置。



学童保育実施事業費 17億8,130万円 (前年度:17億922万円)

自立応援室支援員配置事業費 692万円

教室に入りづらい児童生徒の居場所として、自立応援室(教室以外の別室)での生活や学習支援の充実を図るため、常駐の支援員6人を小中学校に配置。



養育費に関する公正証書作成等補助金 30万円

ひとり親世帯が養育費を受け取れるよう、養育費に関する公正証書の作成費用等に対して助成。

補助上限額:3万円
(補助率10/10)



福田公園再生工事費 3,822万円
2023~2024年度は駐車場整備。2024年9月頃完成予定。



(仮称)水島緑地福田公園屋内プール整備事業費 25億7,930万円(債務負担行為39億2,538万円)

老朽化した市役所隣の屋内水泳センターを水島緑地福田公園水泳場に統合し、新たな屋内プールを整備。2024年度~2026年度で建設。2027年3月完成予定(総事業費65億円)。



都市防災公園及び複合施設整備事業費 4億744万円

山陽ハイツ跡地を活用して、都市防災公園及び会議室、文化練習室等の複合施設を整備。

整備期間:2023年2月~2025年5月



水島地区公共施設再編整備事業費 1,496万円

水島地区の老朽化した公共施設(水島公民館、水島児童館、水島図書館)の再編整備を行うにあたり、基本計画策定等支援業務を委託。



企業版ふるさと納税を活用した映画撮影誘致支援費 100万円

企業版ふるさと納税を活用して、倉敷市内で映画撮影誘致を目的として、倉敷市を舞台にした映画作品の撮影にかかる費用の一部を助成。



補助率:1/2、補助上限額:100万円

下水道事業 40億7,922万円

普及率82.2%⇒**82.4%**にアップを目指す。
(全国人口普及率2022年度末81.0%)

下水道借金 30億3,170万円
(下水道累積借金 980億円)

人件費 319億円(一般会計の15.6%)
(前年度:301億円 14.9%)

フリースクール合同入所説明会を実現 県内初開催で大勢が参加

2月17日にフリースクール合同説明会&不登校相談会が県内で初めて開催されました。

予想以上の方が参加され、不登校で悩んでおられる方、フリースクールの情報を必要としている方がいかに多かったです。

今回は、不登校が多くなるゴールデンウィーク明けの6月1日(土)13時30分~ライフパーク倉敷で開催予定です。



多く保護者が参加



武次郎もスタッフとして参加

2050年の倉敷市の人口は41万人

国立社会保障・人口問題研究所は、2023年12月22日に、2050年までの地域別将来推計人口を公表しました。

	2020年人口(人)	2050年推計人口(人)	2020年を100とした指数
早島町	12,368	11,133	90.0
総社市	69,030	61,585	89.2
岡山市	724,691	643,367	88.8
倉敷市	474,592	409,836	86.4
里庄町	10,950	9,121	83.3
勝央町	10,888	8,871	81.5
赤磐市	42,661	34,386	80.6
岡山県	1,888,432	1,510,460	80.0
西粟倉村	1,398	1,040	74.4
瀬戸内市	36,048	26,719	74.1
津山市	99,937	70,662	70.7
鏡野町	12,062	8,416	69.8
浅口市	32,772	21,953	67.0
矢掛町	13,414	8,919	66.5
新庄村	813	540	66.4
奈義町	5,578	3,687	66.1
井原市	38,384	23,584	61.4
和気町	13,623	8,338	61.2
真庭市	42,725	24,564	57.5
美作市	25,939	14,927	57.5
吉備中央町	10,886	6,226	57.2
玉野市	56,531	32,112	56.8
久米南町	4,530	2,559	56.5
美咲町	13,053	7,281	55.8
笠岡市	46,088	25,357	55.0
新見市	28,079	14,693	52.3
備前市	32,320	16,553	51.2
高梁市	29,072	14,031	48.3

日本の人口は、2050年には、2020年と比べて17.0%減少する推計となっています。岡山県は20.0%減少する推計です。

岡山県内の市町村を見ると、最も減少率が低いのが早島町で10.0%、続いて総社市の10.8%、岡山市の11.2%、倉敷市の13.6%と続きます。

倉敷市の人口は2020年の474,592人が、2050年には409,836人に減少するという推計です。

逆に最も減少率が高いのが高梁市で51.7%です。

自動車急発進抑制装置設置費補助金創設

高齢ドライバーのブレーキ踏み間違いによる事故防止を図るため、自動車急発進抑制装置の購入及び設置費用の一部を補助する制度が創設されました。

装置の購入及び設置費用の2分の1(限度額4万円)。但し、200万円の予算に達した場合は、受付が終了されますので、ご希望の方は早めに申請してください(購入・設置後の申請は対象外です。ご注意ください)



倉敷市内在住の65歳以上の方が対象です(他にも条件がありますので、倉敷市HPで確認ください)。

申請受付期間は2024年4月1日~2025年1月31日

2022年度の倉敷市の不登校は883人

倉敷市教育委員会が2022年度の小中学生の不登校児童生徒が、過去最高の883人(2021年度は700人、26.1%増)だったことを発表しました。

小学生が333人(2021年度は263人、26.6%増)で、不登校出現率1.27%(2021年度は0.99%)。

中学生が550人(2021年度は437人、25.9%増)で、不登校出現率4.28%(2021年度は3.38%)。

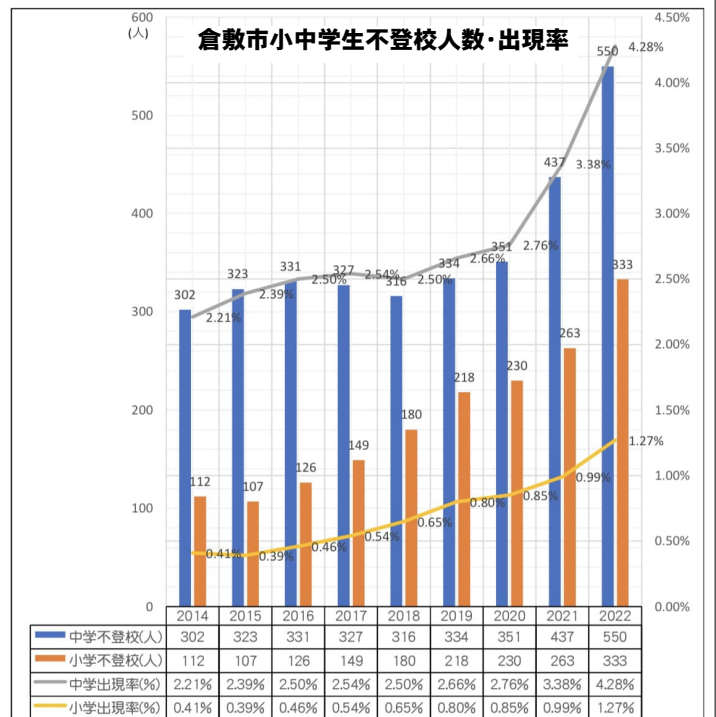
倉敷市は全国や岡山県より、不登校出現率は低いですが、年々、増加しています。

不登校対策の充実、特に学校に行けなくても学ぶことのできる環境づくりが求められます。



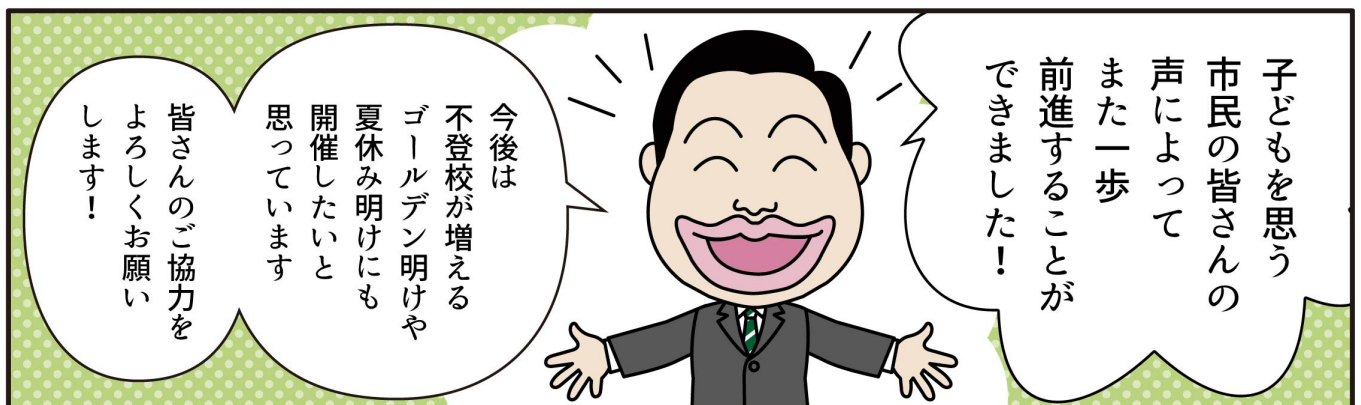
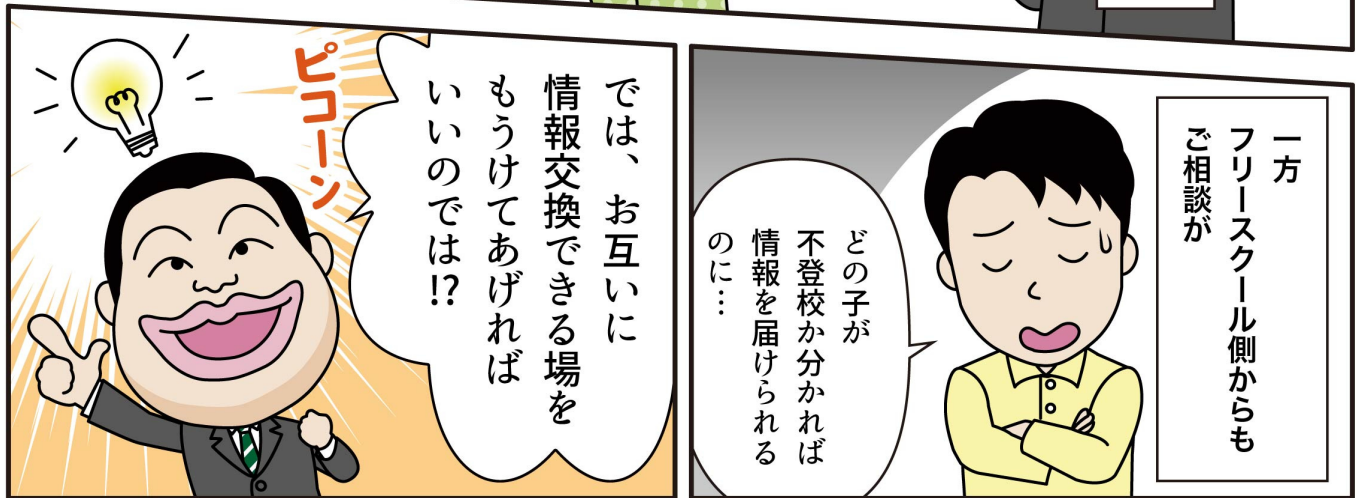
武次郎のSNS

武次郎HP



人口減少についてのご意見をお聞かせください

不登校に悩む保護者にフリースクールの情報を！



フリースクールについてのご意見をお聞かせください